

(別記様式2)

公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	憩の森		
所在地	渋川市伊香保町		
所管部局・課	環境森林部森林保全課	現在の運営方法	■直営 □指定管理者
担当係	県営林係	内線	3273

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

群馬県立森林公園の設置及び管理に関する条例

2 施設の役割

(1) 設置目的

森林が持つ優れた自然環境を保全するとともに、県民の保健休養及び森林学習の場として広く利用に供する

(2) 設置当初の状況

森林での体験活動や森林学習等を通して、森林の機能及び林業に関する県民の理解を深めるとともに、県民の保健及び休養に役立てることを目標に、林業研修所(宿泊施設)及び森林学習展示館が設置された。(宿泊業務は平成15年度末まで)

(3) 施設を取り巻く現状

・森林環境教育の拠点として、県民を対象にした森林学習の機会提供や体験、研修のためのフィールド提供等を行っている。
・四季を通じて草木の変化が楽しめる森林観察会や体験しながら森林の仕組みや役割を学べる自然体験講座などを開催している。
・平成27年度から、ぐんま緑の県民基金事業を推進するため、「森林ボランティア支援センター」を併設し、森林ボランティア支援の拠点として稼働している。

3 施設の概要

設置年月日	昭和55年4月1日
敷地面積(所有者)	365,470㎡(渋川市)
主な施設(床面積、階数等)	1,535.11㎡(研修館;921.41㎡、学習展示館;613.70㎡)
建設費	309,680 千円
備考	土地は渋川市から借用

※1 施設数の区分が多い場合は、別紙も可

※2 備考欄には、過去の大規模改修等の状況を記入

◇入園料・利用料等 (円)

◇利用時間(休館日)

区分	金額	●開園日: 年中無休(12月28日~1月4日を除く) ●管理棟開館時間: 午前9時から午後5時
一般	無料	
大学生・高校生	無料	

※ 入園料・利用料等の区分が多い場合は、別紙も可

4 施設における実施事業

1 展示・研修 森林学習に関する展示、林業研修のフィールドとして活用
2 森林環境教育の推進 県民を対象に自然とのふれあいや森林学習の機会提供、技術習得を目的として次の行事を開催
(1) 憩の森自然講座(年4回) 森林の体験学習を通して森林の役割を理解
(3) 森林観察会(年9回) 森林内生物の多様性を観察会を通して理解
3 森林ボランティア活動支援 森林ボランティア支援センターを運営し、安全講習会、体験会、森林整備器具の無料貸出し、HPによる情報提供等により森林ボランティア団体等の活動を支援するなど森林ボランティアの拠点として活用

※ 指定管理者が自主事業を行っている場合は、区分して記入

5 管理運営コストの状況

区 分	令和4年度(当初予算額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)	令和元年度(決算額)	平成30年度(決算額)
歳 入(①)	231	196	202	229	295
使用料	190	155	162	190	197
雑入(光熱水費,電気料)	41	41	40	39	98
歳 出(②)	25,092	21,288	19,801	21,068	22,248
常勤職員	0	4,384	4,428	4,249	4,257
非常勤職員	15,389	12,665	11,591	10,731	11,229
工事費	0	0	0	1,485	1,485
委託費	3,017	1,345	1,288	1,455	1,538
その他(需要費等)	6,686	2,894	2,494	3,148	3,739
歳入・歳出の差額(①-②)	-24,861	-21,092	-19,599	-20,839	-21,953
歳入・歳出の主な増減理由					

※1 施設の管理運営に係る県の歳入・歳出を記入(総務調整費等からの支出も含める。指定管理者の収支ではない。)

※2 人件費は、常勤職員と非常勤職員を区分して記入

※3 歳入・歳出科目は適宜加除修正すること

※指定管理制度導入施設は、次の項目を追加して記入

◇指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	令和4年度(当初計画額)	令和3年度(決算額)	令和2年度(決算額)	令和元年度(決算額)	平成30年度(決算額)
収 入(①)					
指定管理費					
利用料金					
雑入(〇〇〇)					
支 出(②)	0	0	0	0	0
人件費					
光熱水費					
租税公課費					
その他(〇〇〇)					

収支(①-②)	0	0	0	0	0
歳入・歳出の差額、収支の主な増減理由					

※1 指定管理者の指定管理業務に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

※2 収入・支出科目は適宜加除修正すること

6 職員の状況(各年度4月1日現在) (人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
常勤職員	0	1	1	1	1
非常勤職員	7	6	6	6	6
合計	7	7	7	7	7

※ 指定管理者導入施設については、主に指定管理業務に従事する職員数を記入(主に自主事業業務に従事している職員、一部指定管理業務に従事しているが大部分を他の会社(団体)業務等に従事している場合は記入しない。)

7 施設利用の状況

区 分	令和4年度※1	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
年間利用者総数(人)	3,121	8,171	7,804	12,183	12,442
有料利用者数(人)	177	613	1,162	2,195	2,376
無料利用者数(人)	2,944	7,558	6,642	9,988	10,066
目標利用者数(人)※2					
施設稼働率(%)※3					
稼働率対象施設(設備)					
利用者の主な増減理由	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により、減少したと思われる。				

※1 見込数又は途中実績を記入

※2 目標利用者数を設定していない場合は無記入

※3 施設稼働率の概念が当てはまらない施設は無記入

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	「県有施設のあり方見直し最終報告」で「自然体験のフィールドとし当面活用が見込まれる」とされている。

指定管理者制度	引き続き指定管理者制度による管理運営を続けていくが、隣接する伊香保森林公園との一体的に管理することにより管理運営の効率化を図りたい。
業務等の見直し	令和5年度から指定管理者制度を導入するため、現時点では見直す内容はない。